

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2016 年 7 月 21 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 日本製紙クレシア株式会社 代表取締役社長 南里泰徳 電話 03 - 6665 - 5300

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001
適 用 範 囲	日本製紙クレシア株式会社 京都工場
導 入 年 月 日	2003年 12月 19日
認 証 番 号	E1221
基 本 方 針	①地球温暖化対策 ②森林資源の保護育成 ③資源の循環利用 ④環境法令の順守及び環境負荷の低減 ⑤環境に配慮した技術・製品の開発 ⑥積極的な環境コミュニケーション
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	環境事故ゼロ ・緊急事態0件 省エネルギーの推進 ・受電契約電力以下での運用 産業廃棄物発生量の削減 ・最終処分量を製品当り0.01%以下の継続 ・有価率向上の推進 積極的な環境コミュニケーション ・工場見学受入れの推進
目標を達成するための取組の内容	環境事故ゼロ ・日本製紙グループ環境事故水平展開、環境計器定期校正、環境提案2回/年 省エネルギーの推進 ・省エネ委員会活動、歩留改善、最大電力デマンドコントロール 産業廃棄物の削減 ・廃棄物委員会活動、分別の継続、分別の再教育 積極的な環境コミュニケーション ・工場見学受入れの推進
目標を達成するための取組の進捗状況	環境事故ゼロ ・環境ヒヤリ8件、環境提案843件 省エネルギーの推進 ・各設備の運転方法見直しチョコ停止削減、操業安定による歩留向上、 節水対策工事、高効率機器の採用と機器構成の見直し、照明のLED化 産業廃棄物の削減 ・分別の徹底による埋立ゴミ排出ゼロ及び処理費用削減 積極的な環境コミュニケーション ・工場見学者の随時受入れ
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	ほぼ計画通りに取り組むことができている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について1ヶ月に1回環境情報誌及び本社からの環境週報等で確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについては、原則として1年に1回社内内部監査、認証機関による外部監査、経営者による見直しを実施している。平成26年度は現行の目標及び取り組み内容により一定の成果が見られたことから、27年度も同一のシステムにより運用予定。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。